

# やさかだより3 No. 83

八坂地域づくり協議会 <https://www.shinshu-yasaka.com> 2021年(令和3年)3月1日



~わたしの八坂~ 写真アルバムが完成しました!!

会津先生、吉澤先生、八坂中学校3年生の皆さん

## 3月号の記事

地域づくり協議会の活動から	……2
地区の活動から(どんど焼き)	……3
八坂猟友会から	……4
たけのこ保育園・八坂小学校	……5
八坂中学校・山留の風・ コミュニティ・スクール	……6
八坂公民館	……7
わたしのやさか(写真紹介)	……8~11
きりり話題の八坂人	……12
編集後記	……12

八坂中学校文化祭において、生徒会(3年生)が地域の方と生徒でこれからの八坂を考える企画として「しゃべり場やさか」を開催しました。そこでは地域の方、中学生、小学生、山留の保護者の方などで自由な意見を述べ合い、テーマの「八坂を活性化させるためにやってみたいこと」を考えました。その中から、写真コンテストを取り上げ、審査した結果を一冊のアルバムにまとめました。

今月号では、写真コンテストの受賞作品を中心に紹介します。(関連記事:8~12頁)

八坂地区の人口:788人  
(男 391人・女 397人)  
八坂地区の世帯:358世帯  
(令和3年2月1日現在)

# 地域づくり協議会の活動から

## 【協議会日誌】

期 日	区 分	内 容 等
1/14	第5回地域振興部会会議	・移住者との交流会について
1/27	第5回自治振興会長会議	・令和3年度事業計画について
1/19	やさかだより編集委員会	・3月号の編集について
2/18	第6回地域振興部会会議	・移住者アンケートについて
	第5回八坂地域づくり協議会会議	・下記参照

## 第5回八坂地域づくり協議会

2月18日（木）、第5回八坂地域づくり協議会が開催され、令和2年度事業報告及び決算見込み、令和3年度事業計画案及び予算案、要望事項の進捗、支えマップ、移住者へのアンケート、防災講習会等の協議を行いました。



## 各家庭に**緊急連絡先情報キット**を配布します！

八坂地域づくり協議会では、緊急連絡情報キットを全戸に配布します。

この情報キットは、災害時や緊急時にご自身が対応できない場合に救急隊員の方等に情報を伝達するものです。

緊情情報シートにご記入のうえ、冷蔵庫に入れて保管していただきます。冷蔵庫はどのご家庭にもあり、迷うことなく発見できることから、緊急隊員等に確実に情報を伝えることが可能であるためです。

玄関ドアには付属のシール、冷蔵庫の扉にはマグネットシールを貼り、情報キットがあることを救急隊員の方などに知らせます。

なお、記入した情報については、緊急時を除き、外の人の眼に触れることはなく、個人情報漏れることはありません。

今後、各自治振興会の総会に合わせて配布する予定です。

「緊情情報シート」  
に必要な情報を記入

筒に入れます



冷蔵庫に保管



玄関と冷蔵庫の扉には  
上記のシールを貼ります

# どんど焼き

今年は、良い一年となりますよう例年よりまして強い願いが込められたどんど焼きが、各地区で行われました。

野平自治振興会は、1月10日(日)にどんど焼きを行いました。当日は朝9時に山村広場に集合し、準備を行いました。前夜に降った雪は多くはなく、集合時は好天のため放射冷却で寒くはありませんでしたが準備をしやすい陽気でした。柱となる竹は、前年12月30日に役員で雨の中、切り出しをして運び込んであったので、組み立てている間に竹を運び出す人としめ飾りを集める人に分かれて準備を進めました。子どもたちは軽トラに乗って張り切って締め飾りを集めていました。カマやワラを中に入れ、ダルマを飾って準備を終え、子どもたちはごほうびのお菓子をもらって帰りました。

## 野平地区



午後5時の点火には、参加者の皆さんは各自お餅を持ちより、中にはマシユマロを用意した人もいました。今年は例年と違い、形を保ったまま長く燃えているなか、無病息災を祈りながら、みんなでお神酒をいただきます。



いざという時のため消防団の方に待機していただきながら、夜空に高々と炎が上がって見えたえのあるどんど焼きを行うことができました。

年が明け、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっています。新しい生活様式に合わせつつ、ラバンダー園の整備やラバンダーまつりを楽しみたいと思います。

丸山郁夫

## 舟場地区

1月10日(日)、上籠地区のどんど焼きが行われました。

午後2時から15人ほどの人数が集まり準備を行い、午後4時から巨大な「せぐら」に火が入り、勢いよく燃え上りました。若い夫婦の参加もあり、地域の皆さんに歓迎され、良い光景でした。



無病息災、家内安全、そして早く新型コロナウイルス感染症が収束しますように願いました。

舟場自治振興会 坂井茂人

## 切久保地区

1月11日(月)、切久保地区のどんど焼きを行いました。今年は新型コロナウイルス感染症の影響で積極的に参加を呼び掛ける事が出来ませんでした。子どもたちが



が地区の家を一軒一軒まわり、お正月飾りなどを集めました。その時も出来るだけ接触を避ける配慮をしなければならぬのが残念なところ。地区の皆さんに頂いたお年玉やお菓子を分け合う子供たちの嬉しそうな姿が印象的でした。

例年だと参加してくれていた山留生も今年は残念ながら参加自粛規模を縮小しての開催なので、竹のやぐらもちょっと小さめ。とは言っても、火をつけるとなかなかの火柱で思わず声があがりました。都会で暮らしていたら、一生見ることのない大きさの炎です。

その後は、おき火でお餅を焼いて美味しくいただきました。



来年は、例年通り盛大に開催できる事を願います。どんど焼きのお餅を食べたから、新型コロナウイルスにも感染しないと信じて元気に過ごしたいです。

切久保自治振興会 吉原克巳

## 野生イノシシに対して CSF（豚熱 旧称：豚コレラ）の 経口ワクチンを散布しました

CSF（豚熱）は、CSFウィルスの感染による豚とイノシシの病気で、強い伝染力と高い致死率が特徴です。しかし、人に感染することはない、仮にCSFにかかった豚の肉や内臓を食べても人体に影響はありません。また、感染豚の肉が市場に出回ることもありません。今回の散布ワクチンは、国の食品安全委員会で安全と評価された成分や食品からできており、人体に安全であると評価されたものです。

長野県下ではじめて野生イノシシがCSF（豚熱）に感染しているのが確認された、令和元年7月からこれまでに捕獲された808頭のうち259頭からCSF（豚熱）の陽性反応が確認されています。

北アルプス地域振興局管内においては、令和元年9月9日から令和2年11月16日の間に捕獲された42頭のうち5頭（白馬村2頭、大田市2頭、小谷村1頭）の野生イノシシから陽性反応が確認されています。



防疫及び安全確保のため、長靴や車のタイヤの消毒など作業のための準備はしっかりと行いました



設置をされた経口ワクチンは、後日確認をし、残った経口ワクチンについては回収されています

これらの状況から、長野県全域において令和2年度「野生イノシシ経口ワクチン散布事業」が実施されることとなりました。事業実施に伴い、県下それぞれの地域の猟友会に協力要請があり、八坂地区におきましても地域内4カ所を選定し、12月2日（水）と9日（水）の2日間ワクチン散布を実施しました。

ワクチン散布作業には、北アルプス地域振興局職員、受託業者の株式会社KRC、大田市職員、八坂猟友会の4名でチームとなり行いました。1カ所につき10ポイントに穴を掘り、1ポイント毎にワクチン2個を投入した後土を被せ、その上部には小動物が掘り起こさないように付近にある石を置いて1ポイントの作業が終了です。八坂地区内4箇所の40ポイントにこの作業を行いました。

また、移動するたびにゴム手袋の交換、前掛けエプロン、長靴カバー、移動車廻り及びタイヤ4本の消毒を行うなど感染予防は徹底して行われました。

野生イノシシの死骸を山林等で発見されたときは、大田市農林水産課または地元の猟友会まで情報提供をお願いします。

令和3年1月 八坂猟友会 中島 喜一

# たけのこ保育園



## 雪遊び



思いついて遊んでみました。青い空と白い雪と子どもたちも楽しく笑顔でした。

先日、平地区にある「しらかば保育園」にそりを持って年長さんが遊びに行きました。たくさんの雪や八坂とは違う雪の土手や広い雪上のグラウンドで

今年は、雪遊びをたくさんしています！保育園の土手や田んぼの土手や山の坂など、色々なところでたくさん雪遊びをしています！



## まゆだま

子どもたちとミズキを取りに行き、米の粉を赤・緑・黄に染めて、思い思いに願いを込めて色々な形を作り、ミズキに飾りました。お金やへびやお花など色とりどりに飾られ、とても綺麗でした。今年の豊作を願うと共に、一年健康に過ごせるよう祈りました。

1月14日(木)にまゆだま作りをしました。祖父母の方や地域の方と行う予定でしたが、コロナ禍のため、園児だけで行いました。



# 八坂小学校

気持ち新たに... 書き初め会を行いました

1月13日(水)に、全校で「書き初め会」を行いました。八坂小学校では、3学期がスタートしてから「新年の意気込みを気持ちを入れて書く」というテーマで、去年から書き初め会を行っています。

1年生と2年生は、たみみの部屋で正座をして新年を祝う言葉「あけましておめでとうございます」と各自のめあてを硬筆(鉛筆)で書き上げました。3年生は「書き上げた廊下や教室で、3年生「友だち」4年生「明るい心」5年生「新しい風」6年生「将来の夢」の手本を見て毛筆で書き上げました。それぞれが集中して紙に向きあったことで、心を澄ませ真剣に自分と向き合うことができ、「今年一年、いろいろなことに一生懸命に取り組むぞ!」と決意を新たにすることができたのではないのでしょうか。

タブレット端末を使った学習が始まる! りギガスール構想の取り組み

昨年10月に3年生から6年生の全員にタブレット端末が1台ずつ支給されました。各教室の通信環境設定も完了し、11月からは活用して授業に取り組みます。



児童会選挙には、Google Meetを使って意見・質問を集約しました



児童会立会演説会と選挙、2年生もオンラインで参加しました



3年生から6年生 一筆一筆丁寧に書き上げました



1年生と2年生 背筋を伸ばして、良い姿勢で

# 八坂中学校

## そば学習

そば学習は、ガードレール磨きと同様に八坂中学校の特色ある教育活動となっております。

自分たちでそばを育て、地域の方から手打ちそばの作り方を伝授していただき、卒業までに自力でそば打ちができることを目標にしています。



一年かけてそばを学習したその成果は…おいしい手打ちそばとなりました

今年度は、カモシカと鳥の被害で収穫量は半減しましたが、そば組合さんから感謝申し上げます。



## 小学校の活動 正月飾り（門松）作り

12月12日（月）、今年も学校支援ボランティア環境整備部の方々が、小中学校の玄関に「手作り門松」を飾り付けてくれました。材料は、地域の方々のご協力をいただきました。毎年恒例行事になっており、道具や準備も万端で、櫻井校長や平林校務員、宮坂教頭も一緒に飾り付けのお手伝いに加わって作業を行いました。見事なマツの枝にマダケを中心に据え、オカメザサやナンテンの枝、杉の葉、梅、おやすなど



を飾りつけて見栄えのある「門松」に仕上げることができました。これで今年は、コロナウィルスや自然災害などの様々な「禍（わざわい）」を祓い、良い一年になる事を願っています！

# 山留の風

育てる会 TEL:26-2306 HP:www.sodateru.or.jp

## 原木の切り出しと炭焼き

12月、日頃使用しているナラの森キャンプ場から、整備を兼ねて3本の原木を切り出しました。まず、山仕事創造舎の方に教わりながら2年以上の中学生が実演し、木の切り方を学びました。その後は、特殊伐採の様子を間近で見せてもらい、木が倒れた瞬間にはその迫力に「おお〜！」と声が上がっていました。倒れた木は、班毎に枝を払い、ノコギリで1メートル単位の玉切りにして、車でセンターに運びました。太い木を手ノコで切るのは時間がかかりましたが、中学生を中心に交代しながら根気よく挑んでいました。



1月になり、炭焼きに向けて薪割りを行いました。重い斧の扱いに苦戦しながらも、「頑張れ！」と声を掛け合って取り組み、割れた瞬間には拍手が起こっていました。その後、2日間かけて炭焼きを行いました。一人一人炭焼き窯の中に入り、薪を隙間なく

立て込んでいきました。火を焚いて窯をしめると、2日間かけて様子を見ます。窯に通っては、色や匂い、熱さなど五感を使って煙の様子を見守り、「湿り気がなくなってきた！」などと変化を体感していました。翌日は窯を開け、真っ赤に燃える炭を掻き出しました。すぐに湿らせた灰で冷まし、立派な白炭を完成させることができました。



一連の体験は冬の山村文化体験として行っています。今年切り出しから炭焼きまで、細かい工程も丁寧に体験し、暮らしや自然と共にあった炭焼きの知恵と、労働の大変さを、身をもって知ることができました。

さて、3月19日に、八坂45期と美麻29期の学園生32名が修園を迎えます。今年には感染症への懸念もある中でしたが、学園生が穏やかな一年を過ごせたのは、地域の皆様の変わらぬご協力のおかげです。本当にありがとうございます。次年度も、どうぞよろしくお願いいたします。

# 高砂大学

高齢者の積極的な社会参加と生きがいづくりを目的として開催していきます。「高砂大学」は、11月12日(木)に3回目となる講座を開催し、49人の皆さんが受講しました。

4回目の高砂大学は12月10日(木)に八坂公民館で開催し、45人の皆さんが受講しました。



午前中は、切久保市区の秋山弥生さんから椅子に座ってできるヨガについて学びました。呼吸法を交え、ゆっくり身体を動かすことにより、心身の緊張をほぐしリフレッシュできる体験となりました。

午後は、切久保地区の谷林夏季さんから「ご飯をいづまでも美味しくいただくための口腔ケア」についての講演があり、歌に合わせたパタカラ体操をはじめ脳トレを兼ねたイントロクイズやハンドベルなど、多彩な内容に会場全員が参加し、和やかな雰囲気の中に楽しい一時を過ごすことができました。

分かり易く丁寧にお話いただきました。この日の講座は、健康長寿を目指して貴重な一日となりました。



次回開催日は、3月4日(木)です。今年度最終となりますので、大勢の皆さんのご参加をお願いします。

## すこやか広場

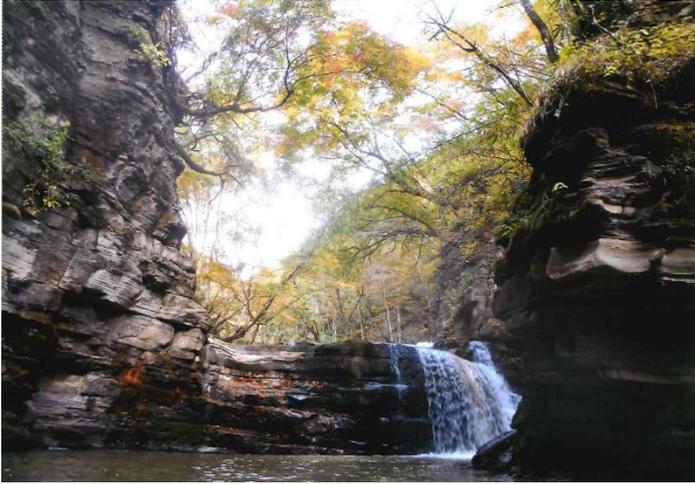
子供達の健やかな成長と保護者間の交流を目的に開催しています。「すこやか広場」は、12月8日(火)に5回目となる講座を八坂公民館で開催し、未就園や保護者、保育園児など30人の皆さんが参加しました。



## 冬季レクリエーションスポーツ大会は中止します

3月7日(日)に開催を予定していました「冬季レクリエーションスポーツ大会」は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、中止いたします。

## 最優秀賞



北澤豊繁「神出の滝」

## みんなに届け! ～わたしの八坂～

2020 フォトコンテスト



八坂中学校 3年生の皆さんが作成したアルバム『みんなに届け!～わたしの八坂～2020 フォトコンテスト』掲載の写真を紹介します。

(紙面の都合上、中学生の編集したアルバムとは異なっておりますがご容赦ください。)

なお、アルバムは八坂中学校、八坂公民館、八坂支所に置く予定ですので、ぜひご覧ください。

## 優秀賞作品



新山民嘉「犀川と紅葉」



稲垣有希「明野の朝日」



北澤青空「金色の朝」



会津沙紀「輝く白銀のロータリー」

新山鼓太郎さん  
僕たちが住んでいるこの八坂の素晴らしい景色を発見することができました。  
たくさんの方々に、八坂の隠された良さが伝わると嬉しいです。

北澤青空さん  
地域の方々の八坂を大切にしているからこそ、これらの作品が集まり、アルバムができたと思います。参加していただいた多くの方々に感謝します。

## 入賞作品



桑原小夏「春の夕方の桜」



得可主あさひ「秋晴れのもみじ」



丸山茂「中央どんど焼き」



石垣晴康「蜂」

## 入選作品



弓削エマ「虹色の空」



石川敏幸「相川からの北アルプス」



北澤虹心「いつもの帰り道」



吉田愛「そり遊び」



富山剛仁「田んぼのあせ道」



吉田歩未「はぜかけ、やったよ！」



吉田心優  
「かけ遊び」



市河千春「野平神社お祭り」

## 各賞受賞作品



新山鼓太郎賞(生徒会長賞)  
北澤直子「安産の神様」



片山ますみ賞(八坂中学校長賞)  
川合祥介「雲海」



アイデア賞  
才木良隆「旧トンネル」



心あたたまるで賞  
吉田紀子「押の田で米作り」



思わず笑顔になるで賞  
松下憲夫「横瀬松明まつり」

森谷優斗さん  
この活動を通して、やさかのきれいな景色を知ることができて良かったです。この風景をいつまでも残していかなければならないと思いました。



八坂で賞  
池田景都「カリヨン塔と自慢のやさか」

## 審査員特別賞作品



山崎重幸「犀川ラフティング」



小林晃英「良かった熊じゃなくて・おおまびよんのモデル」



片山ますみ「学校に来たお客様 オオミズアオ」



岡野翼「学校」



松尾真都子  
「横瀬バス停前」



桑原利恵子  
「明野公園」

内山歆菜さん  
この活動を通して、私の知らなかった八坂の  
景色や行事を知ることができました。またこ  
れからも、たくさんの八坂の良さを見つけて  
いきたいです。

仁野志途寧さん  
多くの写真から私たちが知らない景色まで見るこ  
とことができました。アルバムをきっかけにより多くの  
人に八坂の魅力を再発見していただけたらと思います。

### まだまだ八坂のいいところ、紹介します！





写真コンテストを開催し、アルバムにまとめた八坂中3年生を紹介します!



2月2日(火)、アルバム作成中の3年生を、八坂中に訪ねインタビューをしました。

文化祭での「しゃべり場やさか」で挙がった意見の中から、なぜ「写真コンテスト」を選んだのかという問いには、中学生でも取り上げられる具体的で現実的なものだった、八坂の良さを知ってもらえるきっかけになり情報発信ができるということから選んだそうです。

実際に写真コンテストを開催して嬉しかったことや周囲の反応はどうだったかという問いには様々な写真の応募があり改めて八坂の魅力を再認識した、ご近所の方から声をかけていただいた、こんなに綺麗なお店があったのかと思いつつ、八坂を大切に思っている人や、頑張っていてよくしている人が大勢いると思った、八坂は自然が豊かだけれどそこが、地域の人があってこそその八坂の魅力なのだと思います、思った以上にやりがいがあった達成感があったという手ごたえを十分に感じたという感想を聞きました。



この活動を通して、地域の方々のやさしさ、地域に尽くしておられる姿勢が良く分かった、またこの活動をほめていただいたり、ご協力してもらったことがとてもうれしかったそうです。この春に八坂中学校を卒業し、八坂を離れる生徒さんもいますが、卒業しても、ふれあい運動会などに参加したい、八坂は地域とのかかわりが多いが地元に戻って地域のことを考えて自分ができることを考えていきたいという気持ちを語っていただきました。



北澤青空さん

新山鼓太郎さん

森谷優斗さん

会津沙紀先生

内山欽菜さん

仁野志途寧さん

吉澤正先生

編集後記

2月に入り、益々、新型コロナウイルスの勢いが増してきました。そのコロナ禍の中、今月号の記事にもありますように、中学生の熱意と地域の方の協力により、写真コンテストを開催し「みんなに届け!」わたしの八坂」というアルバムが完成しました。

昨年は、様々な行事が中止や縮小になり、野平自治振興会でも今まで続けてきたラベンダーまつりが中止となりました。次年度は中学生の皆さんの意気込みを見習って、開催できる方法を考え、感染予防の対策をしっかりと取り組みたいと思います。

コロナ禍の中、田舎の暮らしが再評価されています。都会にはあって八坂にないものは数多くありますが、不便さが魅力を発揮するものも多くあるように思います。

田舎暮らしの大事な部分である地域の絆を確かなものにするために、コロナ禍に負けずに、今までは違った形で、色々な行事を開催していきたいと思っています。

野平自治振興会

丸山郁夫